

若鷹丸トロール調査

若鷹丸一等機関士 阿部清三

東北区水産研究所漁業調査船若鷹丸は航海計画の半分以上がトロールにて資源調査を行っています。今回は実際トロールを行っている現場について、簡単に説明します。



入網した魚を種類別に仕分ける甲板員

手前の大きなドラムが「ネットウィンチ」。トロールで使用する網を巻き込むためのウィンチです。船尾側にある2つのワイヤーが巻かれたウィンチが「ワープウィンチ」。更に両舷船尾に配置してある黄色の板が「オッターボード」。網を海底で広げる役割です。



ワープウィンチやネットウィンチは船橋の船尾側にあるウィンチ制御盤にて船長が操縦します。現場で指揮を執る航海士からの指示を受けウィンチのハンドルを操作します。毎朝「今日も一日安全操業で行きましょう！」と船長の一言で一日が始まります。



海底で30分ほど曳かれた網が甲板上に揚げられる様子です。オレンジ色の「浮子」は海底で網を浮かせ、網口を縦方向に広げる役割です。

最近の話題



平成29年6月に長年続けてきた海洋表層水温の観測通報が評価され、気象庁長官から感謝状を拝受しました。

東北水産研究レター No.40

発行月：平成30年2月発行
編集・発行：国立研究開発法人水産研究・教育機構
東北区水産研究所
〒985-0001 宮城県塩釜市新浜町3-27-5
TEL：022-365-1191 FAX：022-367-1250
URL：<http://tnfri.fra.affrc.go.jp/>